

「北区GIGAスクール通信 みらい」は、北区立学校における北区ICT環境を活用した取組や家庭と連携する取組等について、保護者や地域の皆様に向けて、学び未来課が毎月発行いたします。

学校の取組から

各学校のICTを活用した学校運営や授業での取組を紹介します。

滝野川第三小学校 5年国語「どちらを選びますか」

自分の立場を明確にして計画的な討論を楽しみながら、考えを広げたりまとめたりする力を育てる学習です。「住むなら田舎か都会か」、「飼うなら犬か猫か」、「朝食はパンかご飯か」など6つのテーマから選び、司会、記録、進行、録画などを分担して活動しました。



主張を裏付ける根拠の検索、班のまとめ、スライド作成、反論の根拠、討論の要点の記録、討論の録画、振り返りなど、いたる所で「きたコン」が活用されていて、児童はロイロノートの共有ノートとスクールタクトのワークシートをととも自然に使い分けていました。

滝野川第四小学校 5年理科「流れる水のはたらき」

流れる水には、侵食・運搬・堆積の3つの働きがあることを、実際に流水で実験して気付き理解していきます。「きたコン」で実験前と後の写真、実験中の動画を撮影することで、実験の様子を何度でも繰り返し確認することができます。写真と動画は常時共有しているので、他の班の動画と比較して考えることもできます。



考察の時間では、しっかり意見交換ができており、実験がうまくいかなかった他の班の原因を推測する発言まで出て、班を越えて活発な話し合いが始まり、児童の学習意欲の高さに驚かされました。

滝野川第五小学校 3年国語「山小屋で三日間すごすなら」

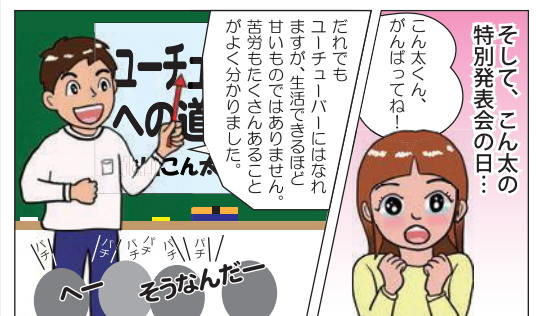
グループでの話し合いの中で、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる活動です。個人で考えた山小屋に持って行く物をグループで出し合い、ロイロノートの思考ツールからピラミッドチャートやベン図を使って分類・整理してまとめました。この方法は、国語だけでなく、他の教科等や日常でも使える問題解決の方法ということを先生は話していました。

振り返りでは、「班で考え合うのが楽しかった」「次はうまくまとめられるようにがんばりたい」など、児童は話し合いや分類の価値にしっかり気付いていました。



きたちゃんコンちゃん

by Toshi



GIGAスクール構想の「個別最適な学び」って何？

- ▶ GIGAスクール構想で児童・生徒に1人1台の「きたコン」を整備したねらいに**個別最適な学び**があります。
- ▶ 本来、児童・生徒は理解度や性格など学びのペースが一人一人違います。その個性に合わせた学びを提供するのが**個別最適な学び**です。今までは、それをしたくても一人の教師が対応できる範囲には限界があり、難しかったのです。しかし、「きたコン」があれば、わからない言葉や用語があれば、自分ですぐに調べることができます。
- ▶ さらに、自分の意見や考えをスライドや思考ツールで表現できます。可視化することで自分の理解が深まり、他の人へも伝わりやすくなります。
- ▶ このように**個別最適な学び**の実現に、「きたコン」は**必要不可欠なツール**なのです。自主的に学ぶ意欲や学習習慣が身に付くことも期待できます。
- ▶ 次回は、GIGAスクール構想のもうひとつのねらいである「**協働的な学び**」について解説します。